



梅雨が終わると本格的な夏がやってきますね。暑くなると、窓を開けることが多くなりますが、風通しを良くするために開けた窓は、泥棒にとっては侵入口になるということをいつも頭の片隅に置いて下さい。玄関の鍵はかけても、窓は開けたままで「ちょっと、そこまでだから」と、家から離れる人がいますが、小さな窓も泥棒にとっては、格好の侵入口になります。暑さでつい甘くなりがちな戸締りですが十分に注意して下さい。薄着になると、痴漢などの性犯罪も増加します。夜道を歩くときは、防犯ブザーをすぐ使えるようにするなど警戒心を見せることが大切です。歩きスマホやイヤホンを使い音楽を聞きながら歩いている人は、ターゲットになる可能性が高いようです。安全に暮らすためには身近にある「危険」を意識することが大切です。



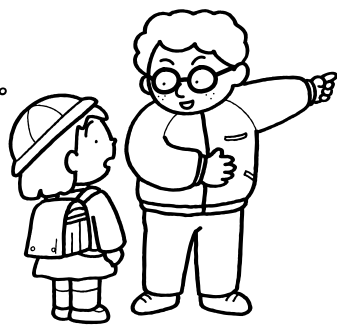
お子さんは、正しい防犯行動ができるでしょうか?

現在、子どもたちを取り巻く心配事のひとつに、「不審者による声かけ」があります。声かけは連日のように各地で発生しており、決して他人ごとではありません。

知らない人に声をかけられてもついていかない

実際に発生した声かけの内容

- ・可愛い動物を見せてあげるから、一緒に来ない?
- ・写真撮らせて。モデルにならない?
- ・アイドルに関する簡単なアンケートなので協力して下さい。
- ・困っているんだけど、駅まで案内してもらえないかな?
- ・家まで車で送ってあげるよ。
- ・大変だ!お母さんがケガをした。すぐに病院まで行こう。
- ・手を触らせて。



一人にならない

不審者から声かけされた子どものほとんどが一人の時でした。下校時や習い事の行き帰りは要注意。なるべく一人にならないようにし、人通りの多い明るい道を通るようにしましょう。



行き先と帰る時間を必ず確認

安全面でのしつけも大切です。「誰と、どこへ、行くのか」「何時ごろ、帰るのか」を、伝えてから出かけるように子どもと約束しましょう。薄暗くなる前には、必ず家に帰ることも日頃から徹底させましょう。



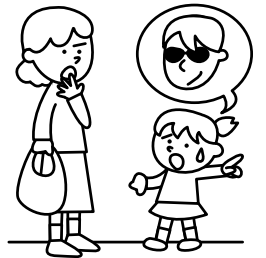
大声や防犯ブザーを鳴らす

とっさの時の大声は、大人でもなかなか出すことができません。普段から練習しておきましょう。また防犯ブザーは、子どもが操作しやすい場所にあるかを確認し、鳴らし方の練習もしましょう。



心配なことがあったらすぐ110番

公園、空き地、神社などの周辺に不審な人がいたり、車が長く止まっていたりなど、ちょっと変だなと思ったことがあれば、すぐに110番をしてください。地域全体で防犯意識を高く持つことが、犯罪のない街づくりへと繋がります。



「朝日新聞 防犯ニュース」休刊のお知らせ

ASA販売店が地域の皆様のお役にたてばと、2004年10月から発行してまいりました「朝日新聞 防犯ニュース」地域で起きたさまざまな事件や防犯対策、また近年では、振り込め詐欺の被害を少しでも減らしたいという思いで続けてまいりました。諸事情により、今月で休刊とさせていただきます。この間、新聞協会地域貢献賞をはじめ、成城署からも感謝状をいただきました。「朝日新聞防犯ニュース」は休刊となりますが、今後も、ASA販売店は、「地域見守り隊」としての自覚を持ち、新聞配達や集金時等、異変に気づいた場合には、迅速に行政機関に連絡し、安心して暮らせるまちづくりのお役に立ちたいと思っております。今後とも、ASA販売店を末永くよろしくお願い致します。